

**西日本豪雨・子ども・災害弱者支援プロジェクト
倉敷市(西日本豪雨)子ども・災害弱者の被災経験に関する
アンケート報告書**

調査実施の背景と目的

認定NPO法人アトピッ子地球の子ネットワークは、2018年8月から西日本豪雨被災地、岡山県倉敷市真備地区において、避難所やみなし仮設にいる食物アレルギーがある子どもの食物の無償提供を実施した。また、調理・冷蔵施設が被害を受けたため給食を提供できずにいる保育園の給食を支援した。本調査は、子どもたちや内部疾患がある人など、災害弱者と呼ばれる方々へのよりよい支援の在り方を探る目的で、豪雨から8か月後に実施された。

対象

倉敷市西日本豪雨被災地域にお住まいの人

調査期間

2019年3月12日～31日

回答数:

93通（配布数250通、回収率37%）

調査主体

認定NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク

配布協力

真備かなりや保育園

倉敷市災害支援センター

倉敷市玉島保健福祉センター

連絡先

NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク

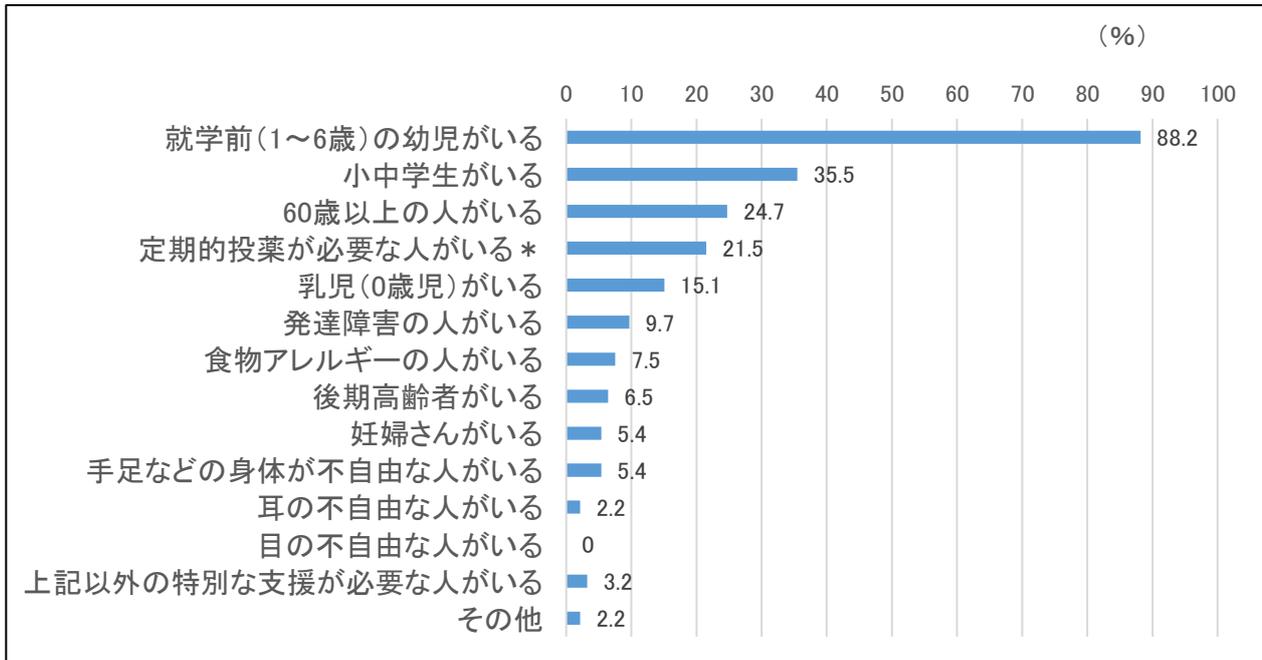
〒169-0075東京都新宿区高田馬場1-34-12 竹内ローリエビル405

TEL03-5948-7891 FAX03-5291-1392

倉敷市(西日本豪雨)子ども・災害弱者の被災経験に関するアンケート報告書

1. ご家族の様子について教えてください。

下記の文章を読み該当するものに○印をおつけください(いくつでも可)



* (血圧降下薬、糖尿病薬など)

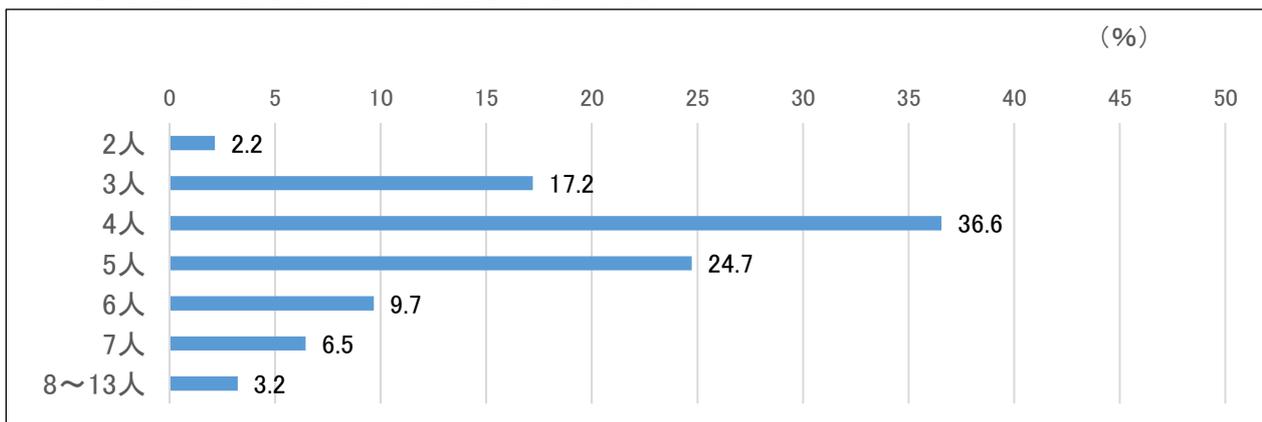
上記以外の特別な支援が必要な人がある 自由記述

認知症あり
ほぼ寝たっきり
吸引・注入等の全介護が必要

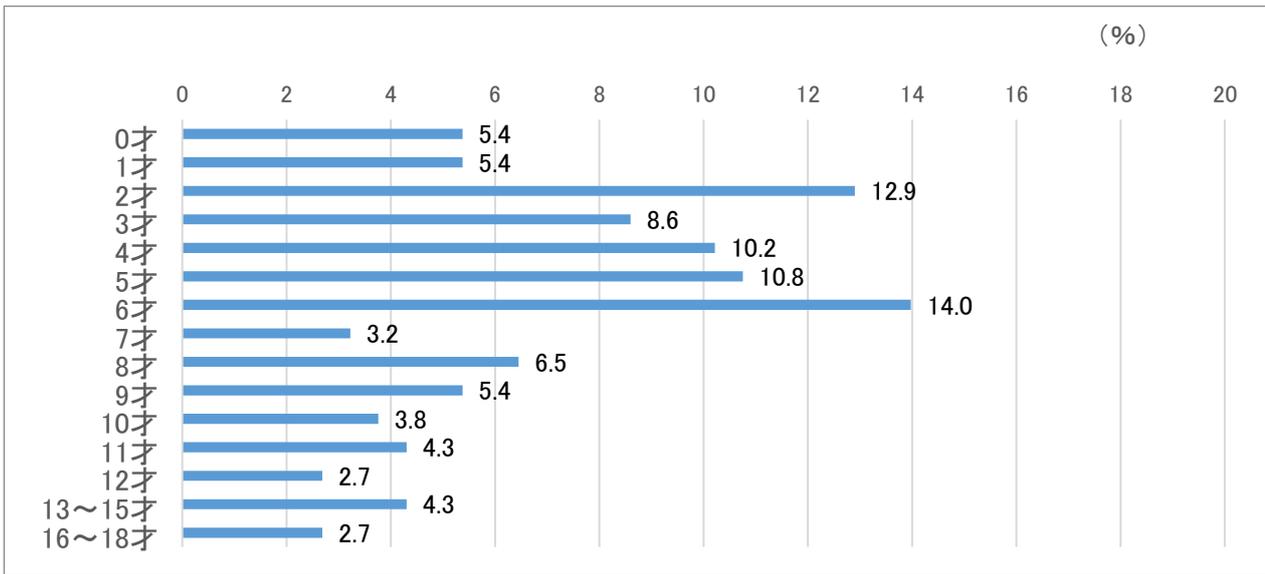
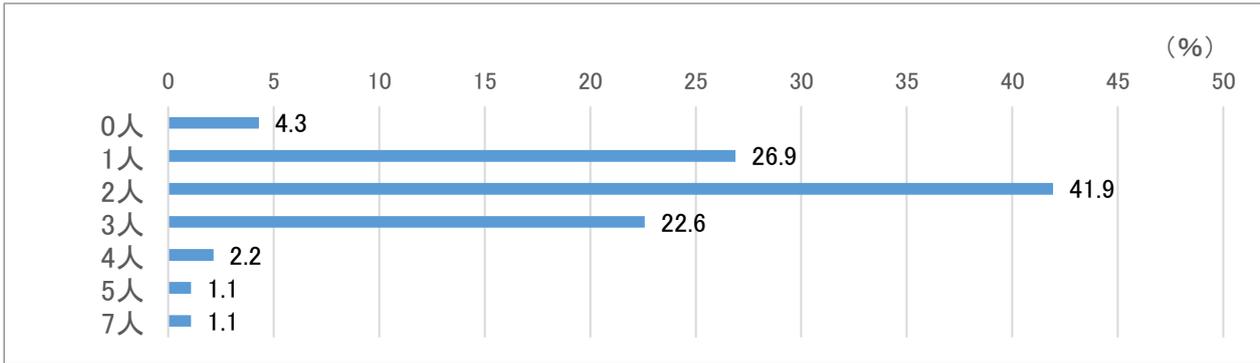
その他・自由記述

腹膜透析が必要。
ペット、犬(中型犬2匹)
発達障害の人は知能、運動遅滞

2. あなたを含めた同居家族の人数をおしえてください。

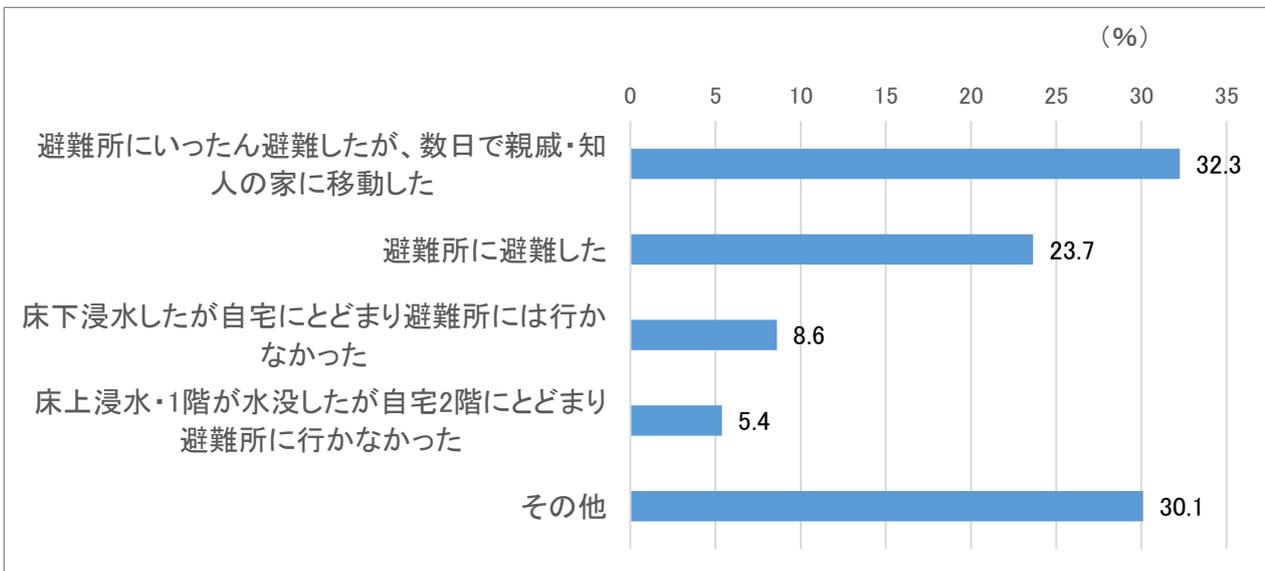


3. 18才以下の子どもがいるご家庭は、お子さんの人数とお子さんの年齢をおしえてください



4. 避難の様子について教えてください。

(1) 下記の文章を読み該当するものに○印をおつけください(1つだけ)



その他の理由・自由記述

犬がいるので避難所には行けず、車を置いている所で、犬と一緒に避難した(家は床下浸水とアルミ工場の爆発でした。
ホテルに避難した。7/7夜避難 7/8朝5時陣痛→出産
浸水する前に実家に避難した
近くの親戚宅へ避難した
主人の実家に避難したが2時間半かかった。
避難所がいっぱいで避難所ではない高台へ避難した。
避難所指定されていない施設に避難した
高台に避難した
避難する時間が遅かった為、避難所に行っても入れないと思い隣町まで車で避難した。
災害直後夫の実家にしばらく身を寄せました。8/24にみなし仮設に入るまでその家にいました。苦痛でした。
2Fまで水没。その日から知り合いの家に1カ月お世話になった後、また違う知人の家に移った。
近所の親戚宅へ移動した。
避難所に指定されていない高台に避難した。
賀陽道の駅へ避難し、その後実家(県北)へ避難した。
実家に避難した(4)
2Fに避難後、救助され、親戚の家に避難した。
知人の家に避難した
仮の避難所(クリーンセンター)に避難した
実家は真備ですが私達は倉敷市西阿知町に住んでいるので大丈夫でしたが、保育園は真備町だったので、預かってもらえる保育園を転々となりました。
外が暗く子供2人と身体が不自由な主人を連れての避難に迷い、又、避難所で生活できるか不安だったため避難せず。(自宅被害なし)避難所に行こうと思ったが他の人に迷惑がかかると思い避難はしなかった。
7/7朝、高台の親戚宅に避難した。停電に加え断水もしたため、夕方から実家に移動した。
すぐ母の実家へ避難した。
身内の家に避難していた
アラームが鳴り怖くなり、水がこんなになる前に実家に移動した。

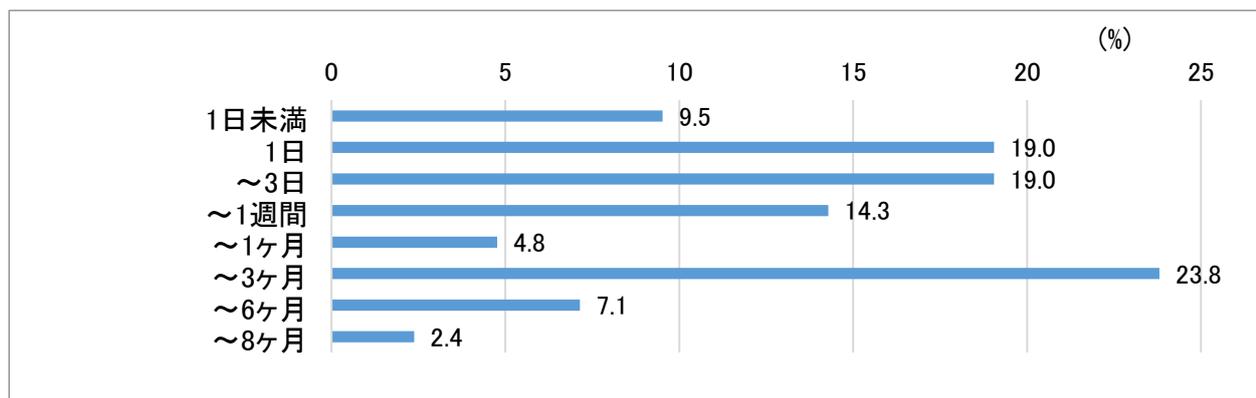
その他以外の回答者・自由記述

避難所として使われる所ではなかったが、今回だけ特別に避難させてくれた(真備クリーンセンター)
2階までは水が来ないと思ったから避難しなかった。
家の近くまで水が来たけど自宅は無事だったので翌日には帰宅しました。
家の手前で水が止まり浸水しなかった。浸からないとのことで自宅にとどまった。しかし、一時孤立していた(団地で)。

高齢者がいるためトイレが遠かったから避難しなかった。
子どもが寝ていた。1度車に乗り込むが渋滞していると連絡をもらい避難するのをやめた。
自宅は避難を免れた
浸水地ではなく自宅にいた
親せきの家も住める状態ではなかったのでまた避難所にお世話になりました。
大丈夫だった
どの道も混んでて前に進まなかったのでもち家に帰った。
半日避難所にいたが隣接する市に実家があるのでそちらに行った。
被災していないので家にいた。
避難したが避難所が人でいっぱいに入れず車内で一晩過ごした。二日目以降に避難所に入れた。
避難所に避難したがすぐ自宅に戻った。
避難誘導を行う(自分で)。他家族は避難。
保育園は真備だが居住は真備ではなかったので避難はしていない
その日の晩のみ避難所へ。室内はいっぱいでも中泊だった。
避難所が断水してトイレなど不衛生になった。通行できる道がわかったため家に戻った。

(2)「1 避難所に避難した」と回答した人にお聞きます。

- ①避難所や二次避難所などにいた期間はどのくらいでしたか。
1週間、5カ月などのおよその日数で構いません。教えてください。

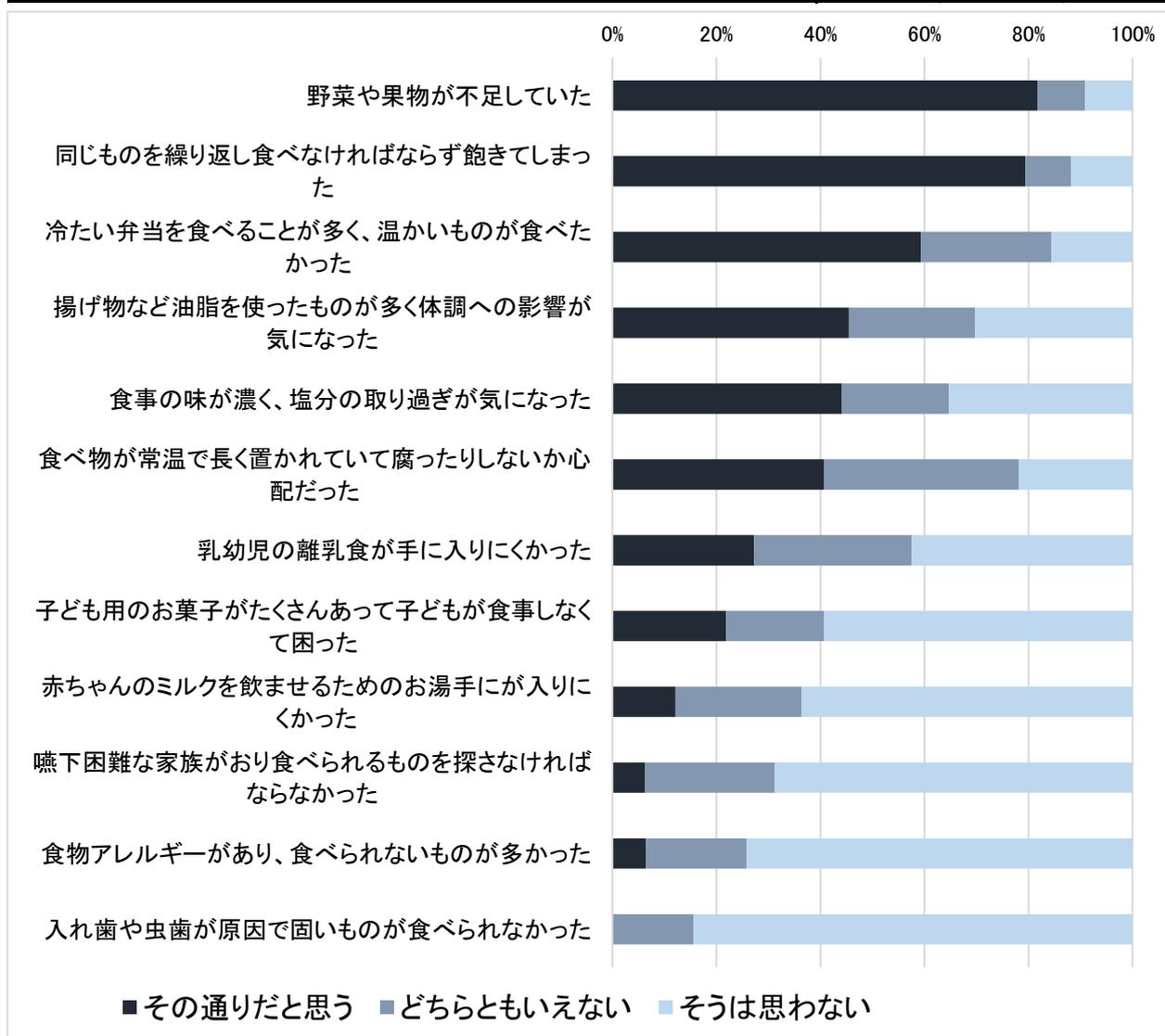


自由記述

小さい子がいたので半日で移動。サントピアにお金を払って一晩宿泊した。
避難所2日、実家5日、みなし仮設住宅3カ月半
避難所2日間、親戚宅、その後約1ヵ月
避難所3日間、その後3ヵ月は親戚の家、その後2階で自宅避難した。
避難所5日間、親戚宅1ヵ月
二万小学校に1週間、下電ホテルに1ヵ月か2ヵ月

②避難所や二次避難所での食事について書かれた下記の文章を読んで、それぞれの文章について
 ①その通りだと思う ②そうは思わない ③どちらともいえない のどれか一つに○印をつけてください。

	(人)		
	その通り だと思う	どちらとも いえない	そうは思 わない
野菜や果物が不足していた	27	3	3
同じものを繰り返し食べなければならず飽きてしまった	27	3	4
冷たい弁当を食べることが多く、温かいものが食べたかった	19	8	5
揚げ物など油脂を使ったものが多く体調への影響が気になった	15	8	10
食事の味が濃く、塩分の取り過ぎが気になった	15	7	12
食べ物が常温で長く置かれていて腐ったりしないか心配だった	13	12	7
乳幼児の離乳食が手に入りにくかった	9	10	14
子ども用のお菓子がたくさんあって子どもが食事しなくて困った	7	6	19
赤ちゃんのミルクを飲ませるためのお湯手に入りにくかった	4	8	21
嚥下困難な家族がおり食べられるものを探さなければならなかった	2	8	22
食物アレルギーがあり、食べられないものが多かった	2	6	23
入れ歯や虫歯が原因で固いものが食べられなかった	0	5	27



③避難所での食事での状況で困ったこと、つらかったことなど自由にお書きください

・1日では食事の配給はなく避難所で食事はしなかった。
・近所のコンビニ等でパンを買うこととなったが、すでに売り切れ状態であった。

・22時頃に避難したが食べ物が当初届くのが遅く子供達がお腹を空かしていた。(持参した食べ物や水もあったが足りなかった。)
・パン食がずっと続きオニギリなどの米飯が食べたかった。
・野菜や果物を食べることが出来ず便秘気味になった。
・片付けてくたびれてるのにまたお弁当をもらうために長時間暑い外で並ばなきゃいけないのがつらかった。

・炊き出しのある間は恵まれていたが、9月以降炊き出しが終了してから同じような内容の弁当が続いたため食べる意欲が低下した。(自立を促すためだと思います。)
・当時5カ月の乳児がいたため、離乳食をしばらく開始できず避難所を去ってから開始したため遅れた。

アレルギー除去食がなかった事。大人には食事が次の日の夕方までなかった。子どももパン1つ。(同じ避難所でも体育館のみの食事の渡しだった。)

同じ弁当が続くと食べなくなった。

お弁当の内容が子供向けではなかったのでおかずはほとんど食べてくれず、カップラーメン等になってしまう事が多々あった。

車の所へもって来て下さった。又、避難所へもらいに行った。同じ物は出来るだけ続けない様に気を使って下さった様子を感じた。やはり、穀類が多く、野菜etc(ジュースでも)あればと思った。

子供がお弁当を食べないのですごく困った。子供が食べるようなおかずのお弁当ではなかった。大人はガマンできるが、子供に食べてもらえるようにふりかけやスープなど自分で買って食べさせていた。となりにアレルギーの子がいたがすごくこまっていた。

子供に食べさすのが1番と思ってもやはり同じ様な物になってしまっていて、あの時は”我が子にお願いします”は言えないですね。皆同じですから、、ただ、お菓子は本当に多かったです。大人は良いが子供はお菓子を食べてご飯を食べないですね。物資はありがたかったが、、

子供を連れて並ばないといけなかったのがしんどかった。

自宅が水に浸かると思っていなかったため、何も食べる物を持って行ってなく、夜11時頃避難所へ行き、朝子どもがお腹を空かせて機嫌も悪くなり大変で、昼過ぎたころやっと食べ物の物資が届いた。もう少し早く食事の提供がほしかったです。

初期の頃は正直おいしくないオニギリが配られ、こんな状況なら避難所を出て離れた実家に身を寄せることにしました。どれだけ普段備蓄食料があったのかわかりませんが、明らかに準備対策不足だったと思います。

ストレスで体が食べ物を受け付けなかった。(4~5日一睡もできなかった) 子供の食べるお菓子をもっと持って避難すればよかった。非常食を定期的に食べる機会が必要と感じた。子供にいつも麦茶を与えていたので、避難所で配られた緑茶を飲まなかった。臨月の妊婦だったので貼り止めを服用してもお腹の張りが治まらなかった。

全てがつかかった。「設問3.同じものを繰り返し食べなければならず飽きてしまった」←その通り！！だんだんと食欲をなくした。温かいものが本当に欲しかった！もう水害がない町になってほしい。つらい。つらすぎた。苦しい。全てを失った。

ぜいたくは言えない状況だったが、ずっと室温か冷たいものだったのが辛かった。お菓子は沢山頂きましたが、子供がそればかり食べてしまい、親もあまり構えずお菓子を沢山あたえてしまうので、それも辛かったです。

炊き出し等いろいろしていただいて、全く困ることもなかった。

食べ物を用意してもらっていたことにはありがたいと思いますが、子どもにはお弁当生活はつらい時があり、カップラーメンやお菓子で済ませている時がよくありました。

炭水化物ばかりでつらかった。家の片づけを終えて避難所に戻ると食事がないことがあった。パンも甘いパンの3種類しかなく毎日同じメニューだった。
夏場だったので冷たいアイスや果物系がほしかった。
パン、おにぎりばかりだったので炊き出しはうれしかった。
一晩だけだったが、家から持って出た少しの食糧を分け合わなければならなかった(その時まで食料の支援はなかった)*避難所はいっぱいで入れなかったので、近くの会社の駐車場で夜を明かした。避難所には食料支援があったのかもしれないが・・
避難指示からすぐの3日間だったので、子供、老人以外は飲み物だけ。我慢するよう言われた。その後、パンやお湯を入れてふくらむご飯は食べられたが、体育館にいく教室にいる者には食事の情報はなく本当につらかった。おにぎりが見えたので「それは？」と聞くと「まだ配れない」と言われた。車が出入りできない状態だったので仕方ないが、本当にお腹が空いていた。子供にだけはそんな思いをさせられないと思い、自分の分をとっておいて空腹になったら分けようと思ったりした。(自分の避難場所、岡田小学校は始めの3日間は本当に悲惨だった。)
避難してすぐみそ汁が配られたが、子どものいる家族優先でとりにいた老夫婦にはなく食べるのが心苦しかった。
避難所指定されていない場所だったので食べ物などの物資が届くのが遅かった。届く前に別の場所へ移動した。
避難所ではなかったけれど、手作りできない状況で毎日お弁当、昼夜作業、汗だくになって片付けに追われ、配給されるものは自分で食べたいものじゃないけれど贅沢は言えない。炊き出しは炭水化物ばかり、食べられないもの(アレルギーで)や子供に合わないものばかりでした。それでも文句は言ってもらえない状況でした。
避難所では良くして頂きました。贅沢は言えませんが菓子パンばかりは正直きつかったです。
避難所の食事。車に乗れるのでコンビニに行けたり玉島へ行けばお金さえ出せば何でも食べられたので特別困ることはなかった。
毎朝同じ物(パン・おにぎり)昼夜も同じような弁当などで味に変化がなく薄味で生活していたこともあり濃い味の食事が続くことが辛かった。子供の身体に対する影響が心配だった。特に野菜(生野菜)がとても食べたかった。
毎回一緒、おかしが多く子供があまりごはん食べなかった。
野菜が食べたかった。つめたい物が食べたかった。
冷凍のお好み焼きがあったが解凍されておらず、冷たくいただきました。早い段階(時間)での提供でとてもありがたかったです。

(3) 避難所に行かなかった方にお聞きします。食品の買い物、食事で困ったことをおしえてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・お店が浸水して買い物に行けない・お店に行くための道がない・大渋滞・お店に商品がない ・水が出ない時は何もできない(断水中)
<ul style="list-style-type: none"> ・常に渋滞していてどこに行くのも時間がものすごくかかった。 ・日持ちするパンをよくもらったのだが暑さでなかなか食べることができなかった(とてもありがたかったのですが申し訳なさでいっぱい) ・あたたかい食べ物がたべたくなった・お米が食べたくなった
栄養が偏った。買い物に行くのに、乳児連れてだったので車移動するのが大変だった。
買う所もなく、電気もないので、遠くのスーパーでパンやおにぎりを買う。

<p>義母の作るのが味は濃いし辛かったり生っぽい物もあつたり生姜がきいてたり、子供が食べるにはサイズが大きかったり、夫がそれを子供にガマンさせて食べさせようとしていたのが腹が立つ。台所が思い通りに使えないのがかなり困った。早くアパート(みなし仮設)へ移りたいと思った。色んな意味で食事だけじゃなく、生姜がきいたのを嫁に義母がやたら食べなさい食べなさいとすすめるのもやめてほしかった。なんだかんだ言いながら結局は夫が夫両親の肩を持つことがよくわかりました。</p>
<p>近所のスーパー等に行きに行ったが水やスポーツドリンクがあつた。水がなくコンビニを転々とした。おにぎりやラーメンが続いた。友達や職場の方の差し入れがありがたかつた。</p>
<p>車が走行不能となりしばらく買い物へ行けなかつた。7月の暑い中冷蔵庫もなく氷を買ってきてもらつたり、すぐ食べられる物(おにぎりやパン、お弁当など)を持って来てもらつた。避難所が近くになかつたので支援もしばらく受けられなかつた。2ヵ月後、ボランティアの方の炊き出しをお願いした。</p>
<p>車の渋滞でスーパーへ行けない。水が出ないので食器を使えない。生野菜が食べられない。</p>
<p>孤立していて水が引くまで団地から出られなかつたり、水が引いても通れる道がなかつたりで、外出することができなかつた。水も出なくなつたりで野菜をかじつてました。</p>
<p>自宅に被害はなかつたが、水道が使えなかつたので簡単に調理できるものが必要で、品切れなお店が多かつた。</p>
<p>実家が同じ真備町だったので電気、水が使えなくなり、買い物は何時間もかけて総社のコンビニへ行つた。物資は避難所ではなかつたので、なかなかもらえず、カップラーメン、缶詰を総合運動場でいただきに行きました。アクエリアス、水をもらい水分を取りました。夏だったので水分は必須でした。</p>
<p>実家に移つたので困らなかつた。でも靴が全部ダメになりシューズ1つだけで出て行って4日間は家に戻れなかつたので、着るものには困つた。</p>
<p>実家に避難した。片付けの為、家に行くが近くのコンビニも食料がなく食料を集められず困つた。また片付けの為まかない食をもらいに行くヒマもなかつた。</p>
<p>実家へ避難した為、特に困らなかつたが、被災した翌日子どもが入院となり大変だつた。</p>
<p>自分の実家に行つたので特に困っていない</p>
<p>車中泊だつたので食べる物もなく様子を見てから総社へ移動した。</p>
<p>食料、水がなく死ぬかと思ひ裏道を教えてもらひ実家に避難した。避難所への道が渋滞して行つてもしかたないと思つた。</p>
<p>その後夫の実家に避難し、食事面は困っていない。</p>
<p>断水でレトルト食品を使用したがる栄養の偏りが心配だつた。お弁当のようなセットになつたレトルト食品があれば良いと思つた。渋滞や迂回で買ひ物が苦痛だつた。レトルトご飯やカップラーメンなど欲しい物がなかなか店になかつた。買ひ物に行く時渋滞や迂回でいつもは15分の所へ2時間程かかり苦痛だつた。断水の為レトルト食品や紙皿が必要だつたが品薄でいろいろな店を回ることになつた。</p>
<p>断水の影響で使える水も限られ食事を作るのに困つた。洗ひ物が出ないように紙皿や紙コップを使つた。何回か使えるように紙皿にはラップをかけて使つていた。給水車が定期的に来てくれるまでは本当に水に困つた。買ひ物も浸水のために車を出せず通れる道がなかつた時はどこへも行けなかつたが、二日後ぐらいから少しずつ通れる所も出てきてかなり遠回りをして買ひ物に出た。近所のスーパーやホームセンターでは品物がなくなつて欲しい物も買えない事も多かつた。特に水、パン、カップ麺など。お弁当なども。</p>
<p>近くのお店もなくなつてしまつたので遠くまで行つて買ひのに苦労した。水も出なくなり実家に水くみに行つた。</p>

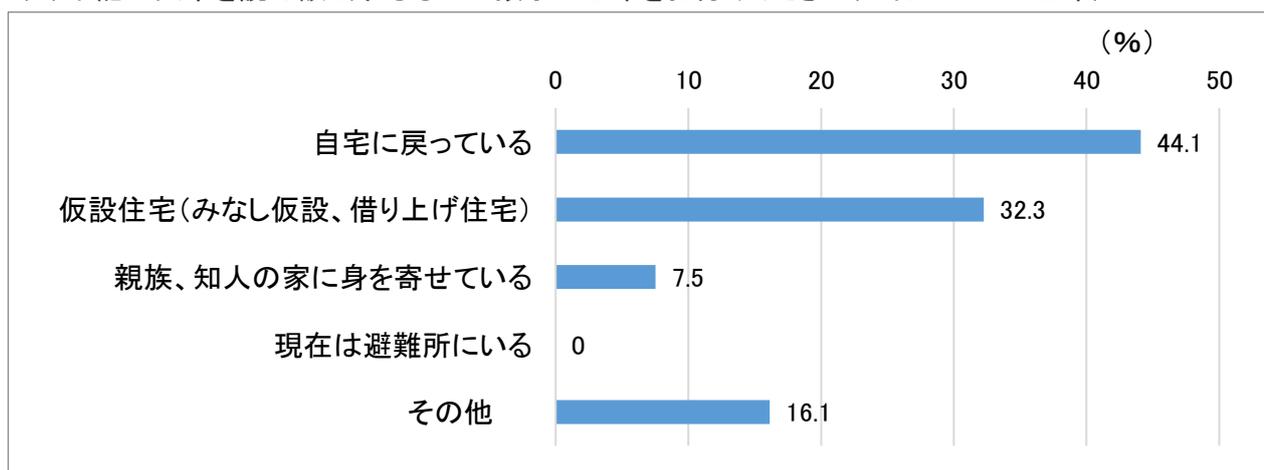
町内がすべて水没の為、町外への買い物に出るのに時間がかかり大変だった。水没してないお家だったので、料理はほとんど水没前と変わらない物を作れた。夏だったので近所の人が野菜や料理したものを持って来て下さいました。
隣市の母の実家へ避難したが、発災直後は同じ状況で買い物に来る人が多く、飲み物、パン、服などが品薄になった。
被災後1週間の昼間は、大人は片付けに追われ子どもに手をかけられず、不規則な食事だったりお菓子を食えることが多かった。
避難した親戚の家が朝すでに停電していたため、電子レンジも使えず。ガスは使えたので冷凍食品(お好み焼き)をフライパンで焼いて食べた。食料は被災してない総社のスーパーに買いに行った。7/7に実家へ移動したので、その後の食品の買い物、食事は困らなかった。
ペットボトルの水が品薄でした。
真備のスーパーは水害で休店し、近くのエリア(総社、倉敷市内)へ買い物へ行っても、水やお茶、すぐ食べられるカップ麺など売り切れていて、買い出しに困った。

避難所にも避難した方の自由記述（食品の買い物、食事で困ったこと）

2階に避難した際は(4ヵ月後～)スーパーがやっと一軒開いたのでOKでした。でも1軒でした。2階にいる時は、炊き出し等の情報も入らずお金もかかり大変な思いをしました。でも自宅に帰ってこれただけましと思ひ、頑張るしかなかった。
食品を買っても作る余裕もなく、出来合いの弁当、おにぎり、コンビニばかりでした。塩分、炭水化物ばかりでのがが渇くし汗はかくし、冷蔵も冷凍もできる状況ではなく、火も使えない。とにかくつらい日々と、生きた心地がしなかった。泣くヒマさえなく、長女の誕生日(7/12)もちゃんとお祝いしてやれず、、
親戚の家を離れてからは、買い物に困りました。車も水没してしまい電車も通っておらずだったので。
近くのスーパー・コンビニは売っているものが何もなかった。
町内の店が全部被災していたので10Km以上遠くの店に行くしかなかった。
乳幼児がいる家庭は特に日頃使っているものでの「自分の家族用防災セット」の必要性を感じました。(食物、衣類にも困ったのに避難準備に1時間もかかってしまった。)
避難所閉鎖に伴い家に帰り、1階を改修しながら2階に住んでいました。買い物は店がなく遠方までいかななくてはいけないのが困った。夕食は近所で炊き出しをしていただいて助かりました。

5. 現在の状態についてお聞きします。

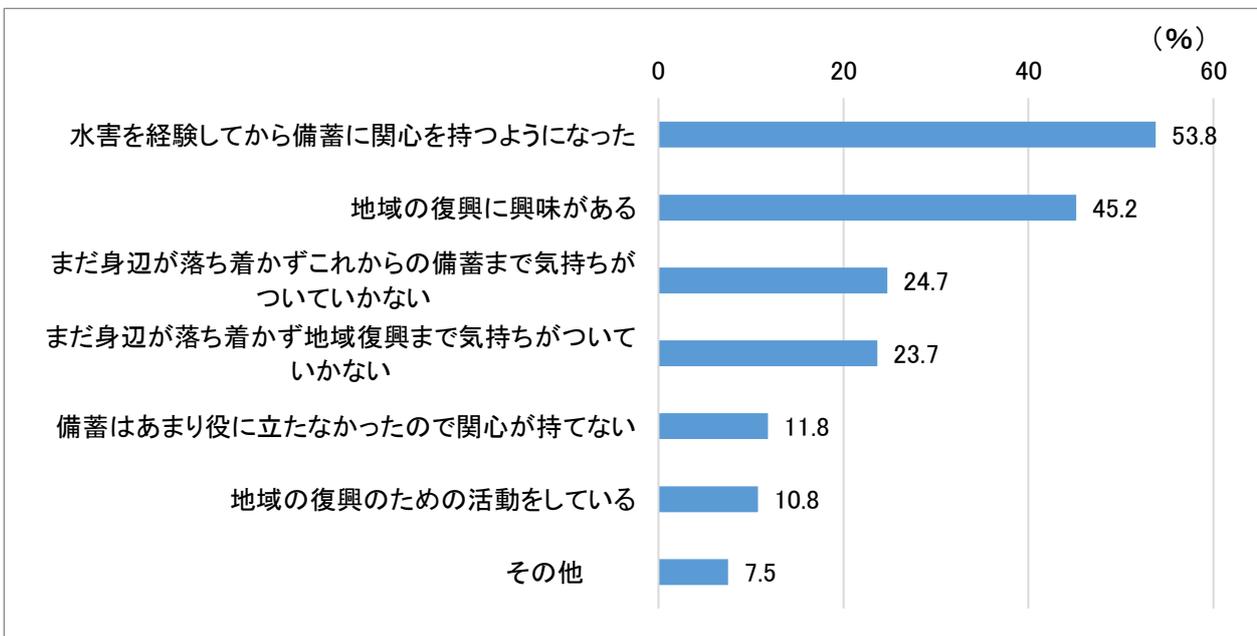
(1) 下記の文章を読み該当するものの数字に○印をお付けください(どれか一つに○印)



その他・自由記述

社宅
家と別の場所に新築してそちらに住んでいる
別の賃貸物件に引越しをした(みなし仮設の扱いになっていない)
義父母の家にとりあえずは身を寄せている(自分たちの家はリフォーム中)
親族の空き家を借りている
父名義で借りている家に住む(父も被災)
もともと真備には住んでいない
となりの市に引っ越した
自宅2F
自力でアパートを借りて住んでいる(仕事の都合で好きな場所に住めない為)

(2)下記の文章を読みご自身の気持ちに近いと思うものに○印をお付けください(いくつでも)

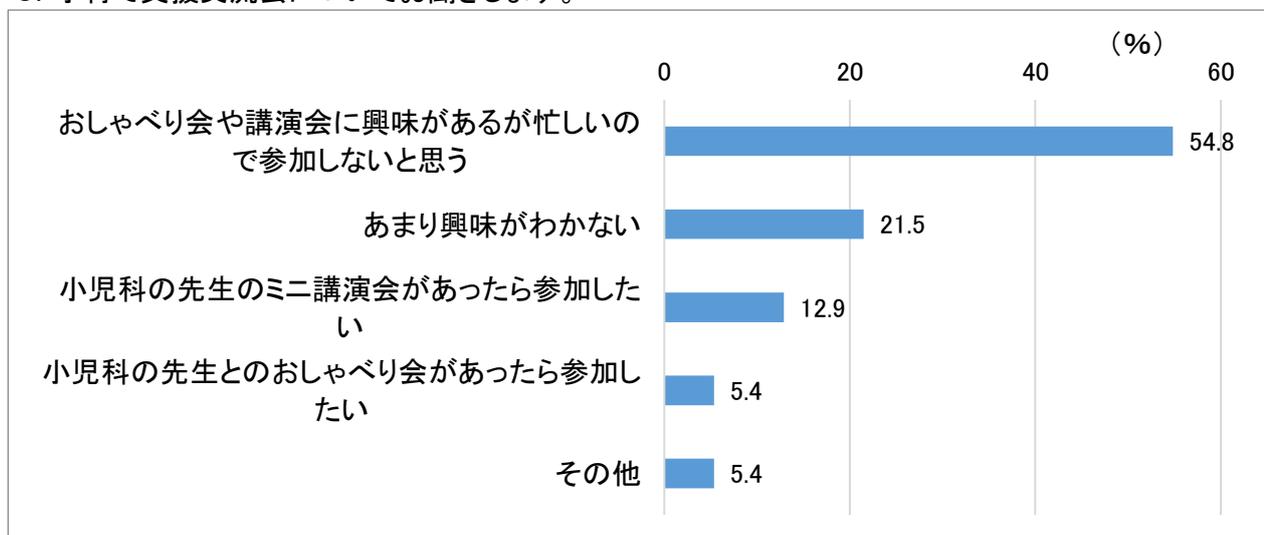


その他・自由記述

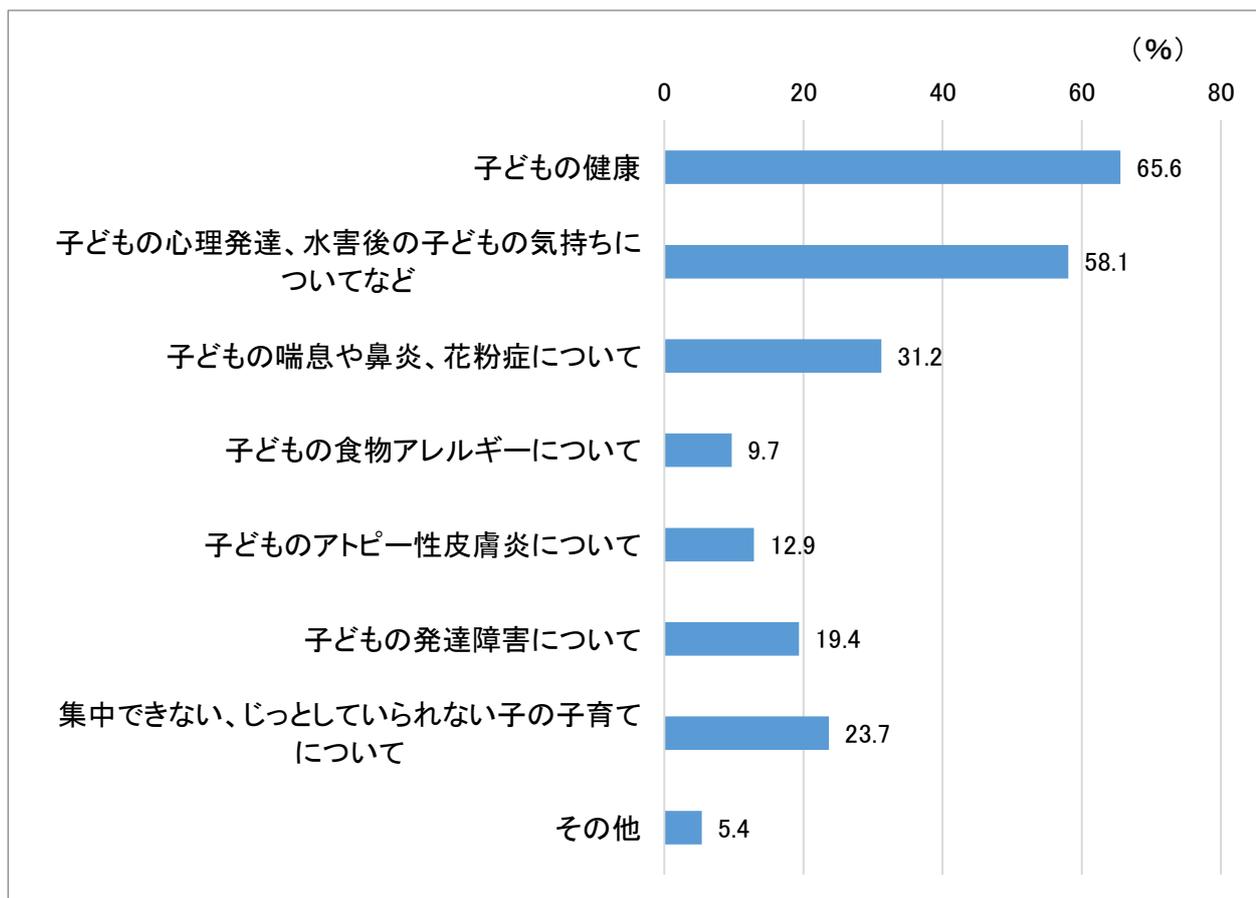
1階だけの被害だったので水等は2階に置くことにしましたが、全て無くし手元に持っている事の価値観がなくなりました。
2Fまで水没した為、備蓄は意味がない。それより水害のおこらない町を作ってほしい。
支援してもら側にもマナーがあると本当に感じた。マナーが悪い人たちを見て、だんだん支援の場所から足が遠のいた。支援していただける事に感謝の気持ちを忘れてはいけないと感じた。当たり前ではなく、皆さんほとんどボランティアでしてくださっている事を忘れないでいたい。支援してもらって当たり前ではないんだと。
地震用の備蓄はしていたが、いざ水害に襲われるとおあまり役に立たないと感じた。むしろボートや浮き輪、防水グッズが必要だと思った。赤ちゃん用ミルクを作れなくて困った。水害になると長期戦。逃げたくても逃げられず、家に閉じ込められる(2Fなど)。水・電気・ガス・トイレも使えないまま真夏に12時間。

<p>沢山の知人が被災された中、ギリギリ助かった事を素直に喜べず知人と接するのにも気を使い、正直とてもしんどいです。</p>
<p>長期的になるのでゆっくり考えている。</p>
<p>当然ですが、人の物はあっても、動物の物はありません。普段より「いざ」に備えて対応する様になりました。今では車には人も犬も使えるトイレシートetcは入れています。</p>
<p>早く自宅に戻ってこれたが周りの状況や解体工事の車両の行き来で心が落ち着かず、子供も外に出れず安心できない。</p>
<p>早く地域に戻りたいが家の再建の段取りが進まない。</p>
<p>地震の備蓄はしていたが全てダメになった。2F天井の位置での備蓄(家は2F床上110cmの浸水)</p>
<p>少しの備蓄はしていたが、水没して役に立たなかったので方法を考えようとは思っている。</p>

6. 子育て支援交流会についてお聞きます。



(2)下記の中で興味あるものに○印をお付けください。(いくつでも可)



その他・自由回答

兄弟間のトラブルや上の子が感じている淋しさにどう対応したらいいのか？仕事と子育ての両立の難しさ。

健康なので2歳から熱も出ることがなく特に健康面についての悩みはありません。

子供達の事もありますが、一番は家ができ、今までの生活が戻る事です。早く家に帰りたいと子供達には言っています。今まで通りの生活がしたいと言ってます。地域、自分達の復興が今は一番です。

災害後5歳の子供が災害の絵をかいた。雨が泥水の絵をかいて、家などがつかった話をしてくれた。心理的なことが心配になった。

療育に行っていたが被災後通えなくなったので退所しました。退所してから集中力の低下、何度も注意しないといけない場面が増えました。